

【成長戦略課題】

データとICTを利用したハウスの自動制御と ブドウの高品質・安定生産（R7～9年）

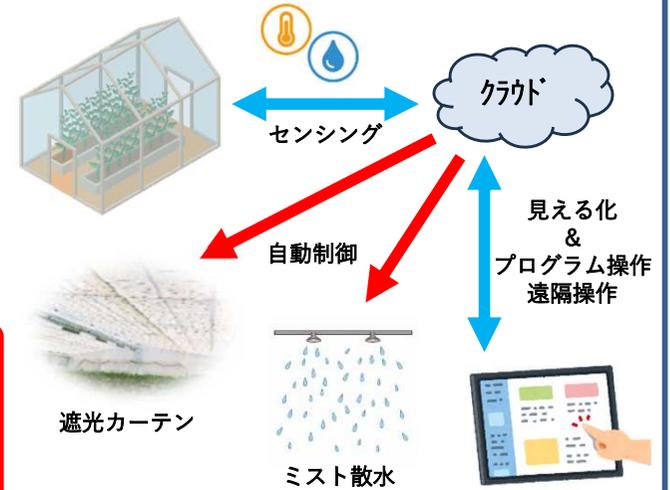
果樹試験場

背景・目的

- これまでに、ハウス内環境のセンシングと解析により、「シャインマスカット」のハウス栽培における多収や安定生産技術を開発してきた。
- 本県のハウスブドウ生産は「シャインマスカット」が70%以上を占め、市場からは黒系や「サンシャインレッド」などの赤系ブドウの増産が求められている。
- 近年の温暖化傾向によりハウス内が高温となり、糖度や果粒肥大の不足という新たな問題が生じており、高温対策技術が求められている。

《研究の目的》

- ◎ 「サンシャインレッド」において、**ハウス栽培技術**を確立し生産拡大につなげる。
- ◎ 「シャインマスカット」において、**高温対策・高品質化技術**を開発する。
- ◎ ICTにより**環境制御を自動化**し、**労力軽減**と**高品質・安定生産**を図る。



研究内容

1～2年目

サン
シャ
イン
レ
ッド

ハウス栽培の適応性の検討
樹体生育、着色、収量など

安定生産技術の検討

カサ資材（撥水紙、不織布）
植調剤（ジベレリン、アブシシン酸）
着色管理（新梢管理、電照）



1～2年目

シャ
イン
マ
スカ
ット

高温対策の検討

遮光カーテン、ミスト

高品質化の検討

有機質・堆肥マルチなど



光、温湿度

CO2、土壌水分

光合成速度

各処理によるハウス内環境と植物への影響を調査

3年目

ハウス栽培技術の確立

「サンシャインレッド」
のハウス栽培技術を確立
し生産現場で実証

高温対策・高品質化技術の
確立



外気象や内気象に応じた
ハウス環境の自動制御

期待される効果

- ・ 「サンシャインレッド」のハウス栽培技術の確立により、赤系ハウスブドウの生産量が増加する。
- ・ ICTと高品質化技術の導入により、ハウス「シャインマスカット」の糖度と果粒肥大が向上し、高品質果実が供給される。
- ・ 高品質な山梨県産ハウスブドウが国内外へ供給され、市場競争力が向上する。

ICTで高品質なブドウを
安定して生産したい！

